

2023年7月号

ホームタウン通信



RIZING ZEPHYR



ホームタウン活動

7月の活動

令和5年度 人権・スポーツ教室

6月から7月にかけて、福岡県と連携した人権啓発活動として「人権・スポーツ教室」を実施いたしました。7月は、5つの小学校に訪問させていただきました！

この「人権スポーツ教室」では、バスケットボールクリニックや、選手・人権擁護委員の方々の講話を通して、子どもたちに人権について考えてもらう取り組みです。

バスケットボールクリニックでは、運動が得意な子も得意な子も、全員で楽しく取り組めるメニューを行いました。クリニック中には、選手からドリブル・シュートのコツや、応援や思いやりの大切さを伝え、最後のミニゲームでは、選手のプレーに子どもたちや先生方も大盛り上がりでした！

選手による人権講話では、それぞれの選手の経験から、子どもたちへメッセージを送りました。

教室終了後には、子どもたちから「バスケットボールを通して、協力することの大切さが分かった」や「バスケットボールは苦手だったけど楽しかった」などといった感想をいただきました。

選手と子どもたちが、直接触れ合うことができるとても良いイベントとなりました！

■選手によるアドバイス



■選手による人権講話



■選手vs子どもたちのミニゲーム



8月の活動予定

2日：北九州市ドリームスポーツ体験教室@北九州市立総合体育館

4日：ライジングゼファーフクオカバスケットボールクリニック@飯塚市総合体育館

7日：北九州市トップアスリート育成促進事業@浅生スポーツセンター

9日：ライジングゼファーフクオカバスケットボールクリニック@久留米アリーナ
ミニバスチームクリニック（全12チーム実施予定）

Project Spiral



7月の活動

7月2日 ライジングゼファークオカWheelchair選手による 社会福祉講話・車いすバスケットボール体験会

7月2日に「インクルージョン教育プロジェクト」の一環として、アイランドアイコートMIRAIBAにて、ライジングゼファークオカWheelchair選手による社会福祉講話および車いすバスケットボール体験会を実施いたしました。

■第1部 社会福祉講話

第1部では、Wheelchair選手による講話を行いました。今回はWheelchairチームに所属する健常者の方から、一緒に活動をする中での視点から、障がいや車いすバスケットボール、インクルージョン教育についてのお話をいただきました。



■第2部 車いすバスケットボール体験

第2部では、実際に車いすバスケットボールの体験を実施しました。最初は、競技用車いすの操作の仕方から始め、グループに分かれてのドリブル・パス・シュートの練習、最後にはミニゲームまで行いました！全員での車いすリレーなど、大人も子どもも一緒になって楽しむことができ、ミニゲームでは、シュートが入ると全員で盛り上がる様子が見られました！

車いす操作の練習の様子



ミニゲームの様子



Project Spiral



今回の活動が、インクルージョンについて考えるきっかけになってもらえたら嬉しく思います。

ご参加いただいた方々、ありがとうございました！



■終了後のアンケート

○参加者の声 ※一部抜粋

- ・選手やスタッフの皆様が、皆さんとても温かく優しく接して下さったので、初めて1人で参加した息子も大変楽しく体験させて頂けて感謝しています。
- ・大人も子供も年齢や性別に関係無く、一緒に楽しめてとても良い経験になりました。

8月・9月の活動予定

【8月】

子どもの健康応援プロジェクト共創企画
第2回保育園対抗シュートチャレンジ

日程調整中 児童養護施設応援プロジェクト
福岡子供の家選手訪問

【9月】

日程調整中 持続可能な環境教育プロジェクト
清掃活動

フードバンク応援プロジェクト共創企画
子ども食堂選手訪問



※8月or 9月に実施予定